

令和6年12月18日

報道機関 各位

伏木まちづくりデザインワークショップ 伏木地区のミライを考える提案発表会の開催について

富山大学藪谷研究室・東京科学大学真野研究室は、能登半島地震により大きな液状化被害を受けた伏木地区のまちづくりに関する提案発表会を開催します。

①公民館の再建、②大規模空地の活用、③商店街の活用という3つのテーマで学生が考えた提案を地域住民に向けて発表する会です。これまでの調査やまち歩き、伏木の成り立ちに関するレクチャーから、コミュニティを繋いでいくきっかけとなる場や活動、モノやコトをグループで話し合い、伏木らしさを踏まえ、提案を考えてきました。今回の提案が今後の震災復興に向けた活動のきっかけになることを目的としています。

つきましては、本件について取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

記

- 日時 令和6年12月23日（月） 19時00分～20時30分（一部21：00）
- 場所 伏木コミュニティセンター 3階多目的ホール
- 申込方法 事前申込不要、参加費無料
- 進行スケジュール
 - 19：00～19：05 挨拶
 - 19：05～19：20 趣旨説明
 - 19：20～20：20 提案発表（発表15分質疑5分×3セット）
 - 20：20～20：25 終わりの挨拶
 - 20：25～20：30 総括
 - 20：30～21：00 自由交流・自由解散

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学学術研究部芸術文化学系 講師 藪谷 祐介
TEL：0766-25-9200 Email：yabutani@tad.u-toyama.ac.jp

伏木地区のミライを考える 提案発表会

どなたでもお気軽に
ご参加ください

伏木地区のまちづくりデザインを大学生が検討し、
地域の皆さまに発表させていただきます



2024.12/23(月) 19:00-20:30

場所：伏木コミュニティセンター多目的ホール

※参加無料。お申し込みは不要です。

デザインワークショップって？

能登半島地震から約1年。液状化による大きな被害を受けた富山県高岡市伏木地区では、転居された方、家を解体し空き地になった土地なども見られるようになりました。このような状況の中で、伏木地区にお住まいの方が、この地域で今後も豊かな暮らしを続けていくには、まちの変化に合わせて今後のまちづくりを検討していく必要があると考えます。

本ワークショップでは、富山大学、東京科学大学の学生が、地域の調査やグループワークを通して伏木地区のまちづくりデザインを検討し、検討した提案を地域の皆さまに発表させていただきます。

対象エリア

伏木地区の中でも特に液状化被害を受けた、石坂、中道自治会の空き地や公民館などを対象に、それらの場所の今後の使い方やあり方を検討します。

スケジュール

デザインワークショップ

11/30(土) .12/1(日)

大学生が伏木地区での
提案を検討します。



提案発表会

12/23(月) 19:00-20:30

検討した提案を、地域の
皆さまに発表させていただきます。



これまでの取り組み

東京科学大学真野研究室、富山大学藪谷研究室では、能登半島地震により被害を受けた伏木地区の復興に向けて、これまで活動を行ってきました。特に液状化被害を受けた地区を中心に、被害状況の調査や、「伏木まちめぐりマップ」などの発行を行いました。今後も住民の皆さまと対話を重ねながら、活動していきたいと思っています。



▲伏木まちめぐりマップ